

# 平成27年度 事業計画書

---

## 1. 公益目的事業の継続

---

平成22年の改正臓器移植法施行後、全国的に脳死下臓器提供件数が年々増加しているものの、心停止下臓器提供件数が大幅に減少している昨今、更に広く臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供医療機関相互の協力体制の確立への助成等を行い、併せて臓器移植を推進するために必要な事業を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした活動をする。

## 2. 臓器提供発生時の対応

---

臓器移植コーディネーターによる各医療機関との調整、臓器提供希望者の家族に対し、移植医療についての説明や承諾後の支援等、臓器提供が適切且つ円滑に行えるよう努める。

## 3. 臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供意思表示の普及推進

---

移植医療は臓器提供があつて初めて成り立つことから、県民一人一人が臓器移植を身近に感じ、正しい理解を得られるよう各事業を行い、移植医療への県民の関心を高めるとともに、普及啓発を進める。

### (1) 関係医療機関等への周知

- ・平成22年7月17日の改正臓器移植法施行後、県内では6件の脳死下臓器提供が実施されたが、近年は各施設からの情報提供が少なく、ポテンシャルドナー（臓器提供の可能性のある患者）の把握ができていない為、提供施設内の啓発と体制整備を行う。
- ・脳死下臓器提供に関連する関係団体との連携を強化する。
- ・選択肢提示用リーフレット（ご家族のみなさまへ）を県内脳死下臓器提供12施設において活用できるよう働きかける。

### (2) 臓器移植普及推進月間キャンペーンの強化

- ・10月の全国臓器移植普及推進月間を中心に、保健所、市町村、関係団体等の協力を得て、街頭キャンペーンを展開し、移植医療への理解の呼びかけ、臓器提供意思表示カード、免許証、健康保険証等への意思表示の普及を図る。
- ・企業、団体、病院、教育施設等が行うイベントに積極的に参加し、臓器移植普及啓発活動を行う。

- ・岐阜大学医学部附属病院内でバナーの展示及びコンサート等を行う。
- ・若年世代にインターネット登録を呼びかける。

### (3) 普及啓発講座

- ・市民公開講座を開催する。(11月29日ふれあい福寿会館／県民、透析患者約80名対象)
- ・医療系教育施設及び支援団体等から一般県民への普及啓発効果を目的として、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミスト等の各支援団体に説明の機会を求めていく。

### (4) メディア等を利用した普及啓発

- ・岐阜県の現状について新聞等を通じて広報し、県民が移植医療及び意思表示について身近な問題として関心を高める。
- ・岐阜県オリジナルポスター(F C岐阜)を活用して15歳以上の若年世代に移植医療に関心を持つよう働きかける。
- ・昨年度に引き続き、岐阜乗合自動車(岐阜バス)市内路線バス100台に搭載されているバスチャンネルで15秒広告を20分1サイクルで繰り返し放映する。
- ・病院内コンサート等の取材依頼をする。

### (5) 臓器提供意思表示の呼びかけ及びカードの設置

- ・県内で開催されるイベント等で、移植医療への理解及び意思表示を呼びかける。
- ・県民が多く利用する市町村庁舎、医療機関施設、教育施設、金融機関、運転者講習センター、自動車学校、大型商業施設等に岐阜県オリジナルポスター(F C岐阜)やカードの設置を依頼する。
- ・成人式の際にカードの配布を各市町村に依頼する。
- ・タクシー会社の協力を得て、車内にステッカーの貼付を依頼する。

---

## 4. 移植医療従事者及び医療機関相互の協力体制の確立に関する援助

---

医療機関が移植医療に積極的に関与することを目的とする。

### (1) 医療機関の臓器提供体制の整備と教育事業

- ・院内臓器提供連絡調整員に対して、移植医療に関する情報交換や事例検討等を内容とした資質向上のための研修会を開催する。(年3回予定)

- ・6歳未満小児の脳死下臓器提供と終末期医療についての講演会を行う。

・脳死下臓器提供（小児含む）事例が発生した場合、家族の意思に沿った臓器提供ができる体制の確認を目的とした関連団体との会議を開催する。

・院内臓器提供連絡調整員及び臓器提供に関わる関係職員を対象に、シミュレーションやセミナー等を通じて各医療機関が移植医療に積極的に関与できるよう働きかける。

・各調整員の活動が活発化されるよう、各施設主催の研修会やシミュレーション等の開催時に臓器移植コーディネーターが参加すると共に、講師派遣や病院の希望に応じた支援ができるよう研修会費用等に対して助成する。

・県内医療機関に定期的に臓器移植コーディネーターが訪問し、病院の院内体制整備やマニュアル改正等に関する協力要請に応える。

・岐阜県脳死下臓器提供施設 1 2 施設に院内体制整備の協力、マニュアルの作成及び改訂を支援する。

《脳死下臓器提供施設》

- |                     |                   |           |
|---------------------|-------------------|-----------|
| * 岐阜大学医学部附属病院       | * 岐阜県総合医療センター     | * 県立多治見病院 |
| * 岐阜市民病院            | * 大垣市民病院          | * 高山赤十字病院 |
| * 岐阜県厚生連中濃厚生病院      | * 社会医療法人厚生会木沢記念病院 |           |
| * 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院 | * 公立学校共済組合東海中央病院  |           |
| * 朝日大学歯学部附属村上記念病院   | * 羽島市民病院          |           |

## （２）移植医療普及活動

- ・関係団体等が開催する研修会において、移植医師と連携し、移植医療についての正しい知識と理解を呼びかける。（対象者：医療関係者、腎臓移植希望者とその家族等）
- ・岐阜大学医学部附属病院内に事務局を設けた利点を最大限に生かす。

---

## ５．腎臓移植希望者に対する支援

---

- ・県内透析医療施設で、更新者の血清保存検査を実施し、岐阜大学医学部附属病院にて腎臓移植希望者の問診を行う。
- ・県内透析医療施設に対し、腎臓移植希望登録方法等について周知徹底する。

【腎臓移植希望者の組織適合検査等の実施】

費用区分		実施予定 5月・10月 新規登録・ 組織適合検査（30名予定）	6月 登録更新者 血清保存（200名予定）
検査費用		37,000円	5,000円
内 訳	自己負担額	5,000円	2,000円
	協会助成額	20,000円	3,000円
	(公社)日本臓器移植ネットワーク補助額	12,000円	

@20,000×30名=600,000円

@3,000×200名=600,000円

助成予定額：1,200,000円

## 6. アイバンク活動を推進するための諸事業

- ・角膜提供事例発生時に速やかに摘出医の派遣を依頼できるよう、摘出医療機関及び協力施設との連携を強化する。
- ・角膜提供者の意思を尊重し、各アイバンクと情報連携を密に図る。
- ・東海北陸地区の連携を図るための会議を開催する。
- ・アイバンクポスターの掲示により、献眼活動を推進する。

## 7. その他

### (1) 機関誌「ぎふジン・アイバンク便り」の発行

- ・県民や医療機関、支援団体の方々に当協会の活動を理解していただくため、機関誌「ぎふジン・アイバンク便り第14号」を1,000部発行する。
- ・新たに広告掲載を医療機関や賛助会員、企業等に呼びかける。

### (2) ホームページの運営

- ・岐阜県における角膜、腎臓移植に関する情報を県民や医療機関の方々にお知らせできるよう、充実したホームページの作成に努める。

【ホームページアドレス】 [http://homepage2.nifty.com/gifu\\_jinaibank/](http://homepage2.nifty.com/gifu_jinaibank/)

### (3) 理事会・評議員会の開催

開催日程・内容等	
平成27年6月 1日	第1回理事会 事業報告・決算承認・業務執行報告・評議員会開催決議等
平成27年6月19日	定時評議員会 決算承認・役員を選任等
平成27年6月 予定	第2回理事会 (みなし決議の方法による) 理事長及び副理事長の選定
平成28年3月 予定	第3回理事会 事業計画・予算承認・業務執行報告等

(4) 賛助会員の募集

目標額：1,490,000円

- ・透析医会・眼科医会を中心に、当協会の趣旨に賛同し、事業活動を積極的に支援していただける団体並びに個人賛助会員を募集する。

【団体】 一口 10,000円以上（市町村は人口割） 【個人】 一口 2,000円以上

(5) 寄附金の依頼

目標額：2,000,000円

- ・当協会の運営資金は、ライオンズクラブ国際協会334-B地区をはじめ、関係支援団体及び県民の皆さまからの善意の寄附金によって支えられている。また、税額控除対象法人の証明を受け、個人の寄附者の皆さまには、寄附金控除等の税の優遇措置が受けられるため、より多くの方に当協会の事業活動に対して、理解し支援していただけるよう働きかける。

(6) 募金活動

目標額：200,000円

- ・当協会の事業活動に対し一般の理解と支援を求めるため、関係医療機関、各事業所の協力を得て募金箱の設置活動を行う。

(7) 研修会への参加

- ・全国アイバンク連絡協議会、都道府県臓器移植推進組織協議会、（公社）日本臓器移植ネットワーク定期連絡会議等へ協会職員を派遣し、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての研鑽に努める。

会議・研修会名	会場・開催月
臓器移植コーディネーター定期連絡会議	名古屋市 (年3回)
第28回日本脳死・脳蘇生学会	名古屋市 (平成27年 7月)
全国アイバンク連絡協議会	東京都 (平成27年 7月)
第14回日本組織移植学会	大阪府 (平成27年 8月)
第51回日本移植学会総会	熊本県 (平成27年10月)
都道府県臓器移植推進組織協議会総会	東京都 (未定)
都道府県移植コーディネーター研修会	東京都 (平成28年 1月)
第50回日本臨床腎移植学会	鳥取県 (平成28年 3月)
第20回中日本支部腎移植臨床検討会	名古屋市 (平成28年 3月)
東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会	岐阜市 (平成28年 3月頃)